

# 高速時代へ第一歩

## 北陸自動車道

# 黒崎〜長岡間が開通

54.5 km

昭和四十五年、北陸自動車道の方線（ルート）発表から、今年で八年、ようやく黒崎・長岡間五〇・五キロメートルが二十一日午後三時から開通します。

この北陸自動車道（黒崎〜長岡間）は、当初計画五十二年開通を目途に建設工事が進められてきましたが、石油ショック等により、経済不況が影響し、建設予算の削減などで、西山町までは五十五年、柿

減などで、二年遅れこのたびようやく開通の運びとなったもので、黒崎・長岡間を40分で、結び、新潟県も全国で三十四番目に、高速道路通車率の仲間入りをし、高速時代への第一歩を踏み出すことになりました。

ご存知のように、将来は滋賀県の米原（名神高速道路）と結ぶもので、西山町までは五十五年、柿

崎までは五十六年、上越市までは五十八年開通を目途としており、西園と直結するまでは、まだ日時がかかりそう、また、長岡から東京方面への開通自動車道は、五十七年には長岡〜小出間を結び、国道17号線に接続し、全線開通は五十九年を予定しているようです。

### 料金

普通車の場合

		新黒崎	黒崎
	卷・渦東	300	500
	三条・燕	200	500
	中之島・附見	300	500
長岡		200	500
		500	600
		600	900

上がらないよう十分注意をお願いします！



## 高速バス 新潟駅〜長岡駅間を 一時間十五分で

新潟交通と越後交通では、高速バスを走らせることになっており、新潟駅・長岡駅間を一時間十五分で結びます。本町では鳥原バストップ

（停留所）県道新潟・亀田内野線、蕪方団地付近）を利用でき、新潟方面、長岡方面への交通が便利になり、長岡までは七ヶ所のバストップ（停留所）が設置され、料金は、七百円となっています。

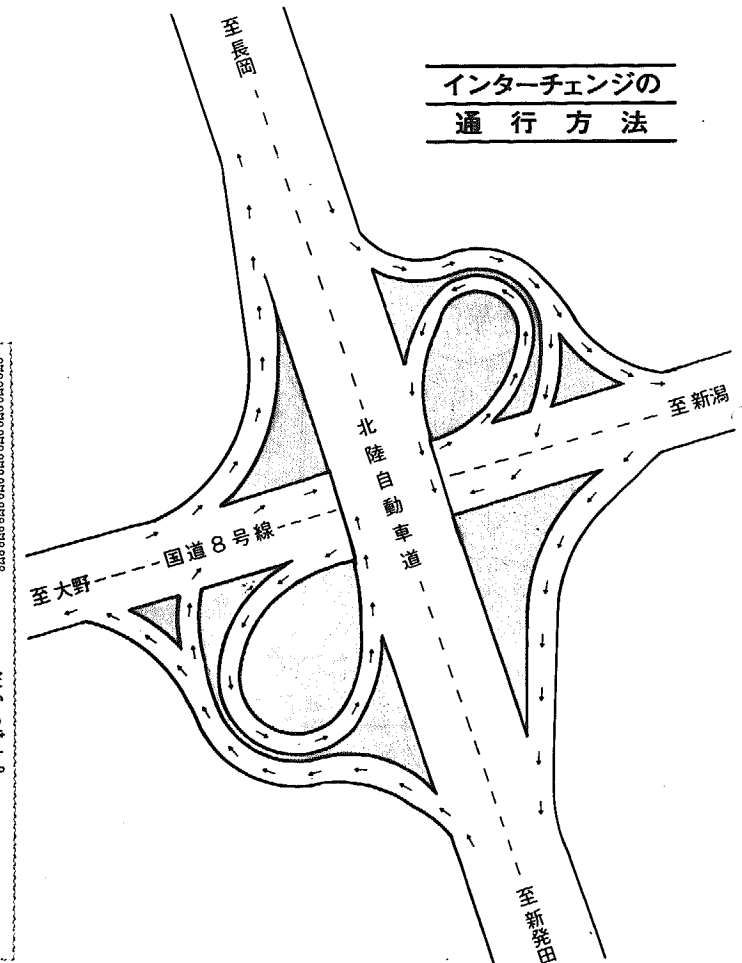
通過路線は、新潟駅〜万代シテイ〜古町〜県庁前と停まり、高速

## 事故が発生したら

中央分離帯に数字の入った標識が百メートル間隔で立ててあります。これは新潟を起点とし、0で初まり、何点、何キロと表示してあります。事故、車両の故障、燃料切れなどの場合、非常電話（一キロごとに設置）で、何点、何キロ付近……と通報すればよいわけです。

### 概要

- ①路線名 高速自動車国道北陸自動車道
- ②開通区間 本町山田から長岡市上野町まで
- ③延長 約五四・五km
- ④盛土部 約四七・五km
- ⑤橋梁高架部 約七km
- ⑥総事業費 一千七百七十一億円（一辺当り二百十億円）
- ⑦経過市町村 上表、参照



### インターチェンジの通行方法

## 用地提供者が試乗

### 一足早く高速気分味わう

北陸自動車道（黒崎〜長岡間五〇・五キロ）開通に先立ち、九月四日、町内の用地提供者二百五十人（全用地提供者は二百五十人）が観光バスで、黒崎から長岡までの試乗を行いました。

これは、道路公団が用地提供者

にご協力を頂いた、お礼として行ったもので、九時三十分、六台のバスに分乗し、黄金色に輝く田園の中を一路長岡インターまで、車内では公園職員が説明を行い、これによると、黒崎・長岡間の総事業費は一千七百十億円、一辺当り二百十万円という莫大な金額に参加者からホッとため息、所要時間も国道8号線を利用すると一時間半から二時間のところを、わずか四十分、参加者は一足早く高速気分を満喫していました。

### 気象

九月下旬の時期を「雷声をおさむ」と称しますが、このころから大陸の乾いた空気が流れこみ、陽ざしが弱くなり、気温が低くなるため秋の気配が強くなってきます。

だが、まだ十月に入っても気温が上がり残暑のきびしい日があります。しかし真夏ほどのことはありません。気温の上昇が真夏ほどでないことと日本をおおっている空気が大陸からの乾いた高気圧だからです。

秋の空はあくまでも青く澄み、やや紫色をおびたその色は、空が無限に深いことを教えてくれます。これは大気が安定していることと空気の中にこまかいちりなどがなっているためです。

一面、秋の天気は変わりやすいといえます。これは北高型の気圧配置があらわれやすくなるからです。秋晴れのわりに、晴天は長つづきしないことも特徴です。逆説的には秋は天気が悪いから秋晴れが大事にされるのでしよう。

●高速バス停留所へお子さんが遊びに